

各 位

2025年3月18日

株式会社 山と溪谷社

<https://www.yamakei.co.jp/>

長年カエルを撮り続けてきたカメラマンが伝授する 『コツがわかる！カエルの見つけ方図鑑』発売

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：二宮宏文）は、2025年3月18日に『コツがわかる！カエルの見つけ方図鑑』を刊行いたしました。

「鳴き声しか聞いたことのない、あのカエルの姿を見たい」

「南西諸島の珍しいカエルを絶対に見つけない」

そんな願いを叶えます！

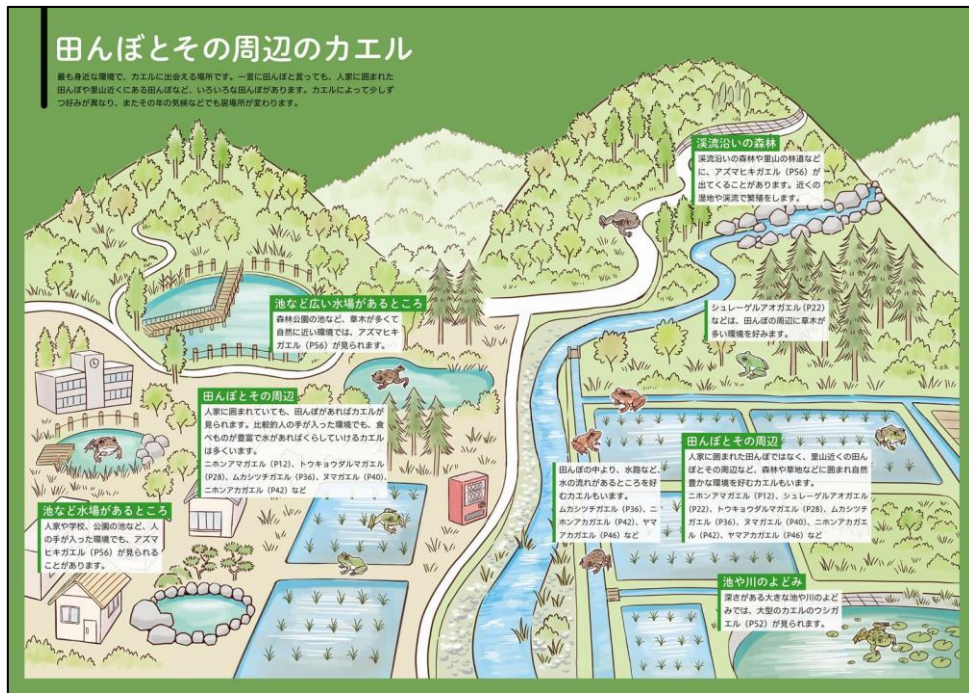


フィールドにカエルを探しに出かけても「そもそもカエルが見つからない」「同じカエルしか観察できない」「鳴き声しか聞こえない…」などの経験はないでしょうか？

カエルは、種類によって同じ田んぼの中でもいる場所が違ったり、同じカエルでも季節ごとに居場所が違ったりと、なかなか見つけるのは大変です。

この本では、長年にわたって数多くのカエルを撮影してきたカメラマンである松橋利光さんが、とっておきの「見つけ方」を教えます。カエルだけでなく周囲の環境もわかりやすく撮影された写真を使いながら解説しているので、視覚的にもカエルの見つけ方のコツが分かります。

■日本のカエルをほぼ網羅！



本書では、比較的身近に見られるカエル 17 種と南西諸島など離島で見られる 26 種、合わせて 43 種のカエルの見つけ方を解説しています。よくいる生息環境ごとに「田んぼとその周辺のカエル」「山や溪流のカエル」「島のカエル」の 3 章に分けているので、どのような環境を探せばよいか分かります。

■カエルの見つけやすさにつながる情報が充実！

どこでも一度は見たことがある身近なカエル

ニホンアマガエル

アマガエル科アマガエル属

●どんなカエル？ 日本の田んぼに生息するカエルといえど、カエルとしては数種に強く、繁殖期以外は田んぼから離れたところで見られることも、シュレーグルアマガエル(→P22)と、すみかと思われた場所で見られることがある。よく見ると顔つきやまぶたが異なり、鳴き声も違う。最近、関西以南にすむのはヒガシニホンアマガエルとされた。



口の裏がとがっていない
鼻から目と、鼻のまわりに、黒い線がある

活動時期 春から秋
よく見られる時期 5～10月
大きさ 2～3cm
鳴き声 キョウキョウキョウキョウキョウ
つかまえ方 小さくて静かな個体もいるので、けがをさせてしまわないように両手で全周をつかんで、そっと包むようにつかまえるのがコツ。

見られる場所 田んぼとその周辺
分布 北海道、本州、四国、九州



停色をま化させて、周囲の色になじむのが得意
喉くもはのどを小さくさせ

【アマガエルの1年】

春 見つけやすさ ☆☆☆
冬眠から目覚めて、田んぼのまわりの草地などでくらす。3月くらいまでは鳴くこともないので、姿を見つめるのはかなり難しい。暖かくなるにつれて少しずつ見つけやすくなる。

夏 見つけやすさ ☆☆☆
→P14
夏は田んぼからまじまじと、ちびガエル、おとなのカエルまで見られる

田んぼに水がはられると多く出現。初夏までは繁殖期なので、昼夜を問わず水辺近くで見られる。夜には大合唱が始まる。雨の日を好むとされるが、繁殖期は天候にかかわらず、よく鳴き、活動に活動する。



秋 見つけやすさ ☆☆☆
→P20
11月くらいだと、まだ冬眠していない。繁殖期が終わっているのであまり鳴かず、見る機会は減る。キャベツ畑やわらの上など、イモムシやクモなどの食べ物の多いところならあられる。



◀暖かい日は食べ物を求めて出てくることもある

冬 見つけやすさ ☆☆☆
→P21
本格的な冬になり、気温が低くと冬眠する。木の根元や、落ち葉や石の下などにもぐってじっとしているので、かなり見つけにくい。寒さが厳しくなると、食べものを求めて活動しはじめる。

カエルごとに白バック写真を使って特徴や似ている種との違いを解説。さらに、カエルごとに異なる「分布」「よく見られる四季」「見られる場所」「季節」「鳴き声」「つかまえ方」などのデータも充実。どのようなカエルか知ることは、カエルの見つけやすさに繋がります。さらに、カエルの

見つけやすい季節を「★～★★★★」の3段階でランク付け。目的のカエルをどの季節に探すとよいか、ひと目で分かります。

■周囲の環境がわかりやすい写真で、直感的にカエルの見つけ方がわかる！

夏 見つけやすさ ★★★★★

POINT 繁殖期は田んぼの水面上から顔を出していることが多い



田んぼの緑などにいるので、鳴き声をたよりに探す。一度鳴きやんでも、しばらく静かなければ再び鳴き出す

▲田んぼの緑などにいるので、鳴き声をたよりに探す。一度鳴きやんでも、しばらく静かなければ再び鳴き出す

▼田んぼの緑などにいるので、鳴き声をたよりに探す。一度鳴きやんでも、しばらく静かなければ再び鳴き出す

▲田んぼの緑などにいるので、鳴き声をたよりに探す。一度鳴きやんでも、しばらく静かなければ再び鳴き出す

▼田んぼの緑などにいるので、鳴き声をたよりに探す。一度鳴きやんでも、しばらく静かなければ再び鳴き出す

POINT 姿が見えないときは草むらにいろこしも

POINT 水の中に飛び込んでもしばらくすると水面から顔を出す

▲土手の草むらにも隠れているので、土手を歩くときはカエルを踏まないようにゆっくり歩こう

▼草むらに身を隠すことも多い。歩道中にもぐってしまつたら歩道を見つけれない

▲水中に飛び込んでもしばらくすると水面から顔を出す

▼水中に飛び込んでもしばらくすると水面から顔を出す

電美のカエル

晴天が続いたあとの夜の夜はチャンス！ 林道で会えるかも

アマミアカガエル

アカガエル科アカガエル属

●どんなカエル？ 電美の林道でも出会う確率の高いカエル。リュウキュウアカガエルと同じ種だと考えられていたが、2011年に種として独立した。リュウキュウアカガエルよりもやや小さいイメージ。選った森林内でもよく出会う。

活動時期 ほぼ一年中

よく見られる時期 冬

見られる場所 山地の深流や林道のそばの湿地や水たまり

分布 奄美群島、徳之島

大きさ 3~4cm

鳴き声 キュルルッ、キュルルッ

溪 流に沿って水がしみみ出てきた水たまりや、林道で水がたまった側溝を探すと見つかる。晴天が続いたあとの夜の夜などは、林道一面に何十個体も出ていることもある。深流沿いの湿地や水たまりだけでなく、畑や民家の庭などに捨てられた鍋や洗面器など、水たまりならどこでも産卵するので、おたまたま見つけやすい。

POINT 冬の暖かい夜、雨の林道に集まってくる

▲雨が降ると林道に集まり、水がたまった側溝などで産卵する

▶雨の水溜み用の網やバケツも、水がたまって見えれば、そこは産卵場になる

POINT 鳴き声がする場所の水たまりは要チェック！

電美のカエル

夜の林道で鳴き声を探そう

アマミハナサキガエル

アカガエル科ニオイガエル属

●どんなカエル？ 深流や深流沿いの森林に生息する。体が大きく、後ろ足が長いので、ジャンプ力がすごい。ひとと飛びでる自信があるからか、警戒心はあまり強くなく比較的近づきやすい。

活動時期 ほぼ一年中

よく見られる時期 秋から冬

見られる場所 山地の深流のそば

分布 奄美群島

大きさ 5~10cm

鳴き声 ビョッ、ビョッ、ビョッ

秋 から冬の繁殖期に、林道を歩くとつらつらと見られる。鳴き声をたよりに探す。深流のそばにたくさんのカエルが集まって産卵するので、警戒地に向かうために路上にも多く出現する。雨の少ない時期や、夏場は少し見つけにくいかもしれない。

▲石に集まるオオスズメバチ、繁殖期に産卵場でも産卵している

▼繁殖期に向かうため、林道に集まったオオスズメバチ

POINT 繁殖期は林道に出てくることもある

▲繁殖期では一度にたくさんのカエルが見られる

たくさんの写真から、カエルがよくいる場所とその周囲の環境がよくわかる写真を厳選して掲載。どのような環境にカエルがいるのか視覚的に分かります。さらに、カメラマンの松橋さんがフィールドでカエルを見つけるためのさまざまなコツを伝授！「どこを探すといいのか？」「いつ探しに行くときがいいのか？」「どのように近寄ると逃げられにくいのか？」など、カエルごとに異なるさまざまなテクニックを公開しています。

【目次】

【はじめに】

カエルってこんな生きもの／カエルの生活／カエルを探してみよう！／カエルの魅力

【第1章】 田んぼとその周辺のカエル

ニホンアマガエル／シュレーゲルアオガエル／トウキョウダルマガエル・トノサマガエル・ナゴヤダルマガエル／ムカシツチガエル・ツチガエル／ヌマガエル／ニホンアカガエル／ヤマアカガエル／ウシガエル／アズマヒキガエル・ニホンヒキガエル

【第2章】 山や溪流のカエル

ナガレヒキガエル／モリアオガエル／タゴガエル／ナガレタゴガエル／カジカガエル

【第3章】 島のカエル

アマミイシカワガエル／オットンガエル／アマミアカガエル／アマミハナサキガエル／ハロウエルアマガエル／ヒメアマガエル／アマミアオガエル・オキナワアオガエル・ヤエヤマアオガエル／リュウキュウカジカガエル／シロアゴガエル／オキナワイシカワガエル／ナミガエル／ホルストガエル／リュウキュウアカガエル／ハナサキガエル・オオハナサキガエル・コガタハナサキガエル／ヤエヤマハラブチガエル／ミヤコヒキガエル／アイフィンガーガエル／サキシマヌマガエル／オオヒキガエル／サドガエル／チョウセンヤマアカガエル／ツシマアカガエル

【第4章】 カエルを深く知るために

カエルの持ち方／カエルの飼い方（ニホンアマガエル・ニホンアカガエルのオタマジャクシ・ヒキガエル）／カエルの持ち帰り方

【コラム】

- ・ヤマアカガエルとニホンアカガエルの産卵場所の違い
- ・見つけたら比べてみよう！おたまじゃくし
- ・カエルに近づく方法
- ・奄美大島は「カエルの楽園」！
- ・カエルに関する法律とマナー事情

【著者プロフィール】

■松橋利光（まつはし・としみつ）

1969年、神奈川県生まれ。カエルやヘビといった両生爬虫類を中心に、野鳥や水辺の生き物、各種ペット類の撮影を行う。近著に『奄美の道で生きものみつけた』『奄美の森でドングリたべた？』（新日本出版社）、『奄美の森でカエルがない』『ワレワレはアマガエル』（アリス館）、『その道のプロに聞く 生きものの持ちかた』『その道のプロに聞く 生きものの見つけかた』（大和書房）、『山溪ハンディ図鑑10 増補改定 日本のカメ・トカゲ・ヘビ』『ときめく図鑑 Pokke! ときめくカエル図鑑』『くらべてわかるカエル』（山と溪谷社）など。

【商品詳細】

書名：コツがわかる！カエルの見つけ方図鑑

著者：松橋利光

定価：1,760円（本体1,600円+税10%）

発売日：2025年3月18日

仕様：A5判 128ページ オールカラー

商品 URL：<https://www.yamakei.co.jp/products/2825064050.html>

【山と溪谷社】 <https://www.yamakei.co.jp/>

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心とした山岳・自然科学・アウトドア・ライフスタイル・健康関連の出版事業のほか、ネットメディア・サービスを展開しています。
さらに、登山やアウトドアをテーマに、企業や自治体と共に地域の活性化をめざすソリューション事業にも取り組んでいます。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。
さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社山と溪谷社 担当：平野

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング

TEL03-6744-1900 E-mail: info@yamakei.co.jp

<https://www.yamakei.co.jp/>